

## 競技注意事項

- 1 本大会は、2024年度公益財団法人日本陸上競技連盟規則ならびに本大会実施規則を適用する。
- 2 **引率者会議**を、**1日目8時30分より競技場正面玄関前**にて行う。各学校顧問およびチームの引率責任者は必ず出席すること。
- 4 競技者の招集について
  - (1) 競技者の招集所は、競技場正面玄関横に設置する。
  - (2) 招集時間は次の通り。

|         | 招集開始時間     | 招集終了時間     |
|---------|------------|------------|
| トラック競技  | 競技開始 30 分前 | 競技開始 15 分前 |
| フィールド競技 | 競技開始 60 分前 | 競技開始 30 分前 |

※棒高跳の招集完了時間は、場内での練習時間を確保するために、競技開始時間の1時間前とする。

- (3) 招集の手順
  - ア) 競技者は、招集完了時刻までに招集所の招集用紙に○をつけ、スタート地点またはピットにおいて出発係または、投てき・跳躍審判の最終点呼を受け、指示に従うこと。
  - イ) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の招集時に申し出ること。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目に出場できない。
- (5) リレー競走のオーダー用紙は、**招集完了時間の60分前までに招集所に提出すること**。(用紙は招集所に用意している)決勝もオーダーの変更の有無に関わらず提出すること。ただし招集は規定通り受けること。
- (6) 男女四種競技は、両日とも最初の種目のみ招集を受け、以後は直接スタート地点、ピットに集合し、競技役員の指示に従うこと。

### 5 競技について

- (1) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、天候により変更することもある。

※ ( ) 内は練習の高さ

|          |    |                                |         |
|----------|----|--------------------------------|---------|
| 走 高 跳    | 男子 | (150) 155-160-165-170-173-176- | 以後 3cm  |
| 走 高 跳    | 女子 | (130) 135-140-145-148-151-     | 以後 3cm  |
| 棒 高 跳    | 男子 | (230) 240-260-280-290--        | 以後 10cm |
| 四種競技 走高跳 | 男子 | (135) 140-145-150-155-158-161- | 以後 3cm  |
| 四種競技 走高跳 | 女子 | (115) 120-125-130-135-138-141- | 以後 3cm  |

- (2) 共通男女走幅跳及び共通男女砲丸投の予選通過記録は次の通りとする。
 

|       |      |           |      |           |
|-------|------|-----------|------|-----------|
| 走 幅 跳 | (男子) | 6 m 5 5   | (女子) | 5 m 4 5   |
| 砲 丸 投 | (男子) | 1 3 m 0 0 | (女子) | 1 2 m 5 0 |
  - (3) 競技の運営上、下記未満の記録は計測しない。(四種競技をのぞく)
 

|       |      |         |      |         |
|-------|------|---------|------|---------|
| 走 幅 跳 | (男子) | 5 m 0 0 | (女子) | 4 m 0 0 |
| 砲 丸 投 | (男子) | 9 m 0 0 | (女子) | 9 m 0 0 |
  - (4) 使用する全天候用シューズのスパイクのピンの長さは、9mm以下とする。(走高跳は12mm以下)
  - (5) 競技者は、競技する以外はトラック及びフィールド内に立ち入ることはできない。(監督・コーチも同様である。)
  - (6) ウォーミングアップは、補助競技場、競技場周辺、雨天練習場を使用すること。
- ### 6 競技の抽選及び番組編成について
- (1) レーン順、試技順は、プログラム記載順の上から下へとする。
  - (2) トラック競技でタイムにより次のラウンドの出場者を決めるときに同記録者があるときは、写真判定主任が写真を拡大(1/1000秒以上の差が認められた場合)して進出者を決める。それでも決められないときは、同記録者が抽選をして進出者を決定する。(競技規則167条-2を適用)
  - (3) トラック競技のうち、共通男女1500m、共通男子3000mは、タイムレース決勝として行う。
- ### 7 全国中学生陸上競技大会への出場について
- (1) 本大会及び第76回福岡県中学校陸上競技大会で全国標準記録を突破した者については、全国大会の出場権を得る。
  - (2) 四種競技については、6月15、16日の第14回福岡県中学校選手権大会で全国標準記録を突破した者も全国大会の出場権を得る。
  - (3) 共通男女4×100mRについては、本大会の優勝チームが全国大会の出場権を得る。
  - (4) 追い風参考記録は、全国標準記録の対象にならない。

### 8 その他

- (1) 大会中に発生した負傷・疾病については、応急処置等の処置は主催者において行うが、それ以後の責任は負わない。  
(主催者は、競技者及び競技役員を対象とした傷害保険に加入している。)
- (2) 主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、公益財団法人日本陸上競技連盟の定める個人情報保護方針に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

# 令和6年度 第70回通信陸上福岡県大会の連絡事項

福岡県中学校陸上競技専門部

## 顧問者会議について

- 本紙を、顧問・監督者会議（8時30分@正面玄関前）に持参して、説明を受けること。
- 大会2日目は、顧問・監督者会議は行わない！何かあれば自チームの地区専門部長に連絡&確認すること。

## 全国大会標準突破指定大会

- 風などの状況を考慮して、急遽、バックストレートでの競技実施の判断やお知らせをすることがある。  
また、バックストレートでの競技をアナウンスした後に、状況次第で、急遽再度変更を行う場合もあり得る。  
⇒**会場アナウンス（放送）をよく聞いておくよう、生徒に指導しておくこと。**  
急な変更や、実際の競技時の風などのコンディションの状況については、ぜひとも理解と協力をお願いしたい。  
※大会側としては、「できるかぎり突破の可能性が高まる」ための判断をしていきたいと考えている。
- 全国大会出場権を得たチームは、できるかぎり速やかに、大会本部に受付に来ること。その際、顧問（監督）・生徒・（保護者）で来ること。申込料4500円の準備をしておくこと。
- 全国大会は1人1種目となっているので2種目突破した場合はどちらの種目にするか受付の際に伝えること。

## 全日本中学校体育連盟：陸上競技大会における、リレー競技の福岡県代表校の決定方法について確認事項

- ①全日本中学校通信陸上競技大会福岡県大会（以下、通信陸上大会）が、通常通り開催された場合  
⇒通信陸上大会の決勝で1位になったチーム  
※災害等で、自治体や教育委員会の指示により、参加が不可能なチームがあった場合も、従来通りの決定方法になる。
- ②災害等で、通信陸上大会が急遽、1日目のみの開催となった場合  
⇒1日目の予選のタイムをタイムレース決勝とし、1位のチーム
- ③災害等で、通信陸上大会が2日目のみの開催となった場合  
⇒1日開催のタイムテーブルに則り、リレー競技がタイムレース決勝となり、1位のチーム
- ④災害等で、通信陸上大会が開催できない場合  
⇒福岡県中学校総合体育大会陸上競技大会の決勝で1位になったチーム

## タイムテーブルについて

- 男子400m予選は、資格タイムにより番組編成し、タイムレースとする。
- 男女200m決勝は、例年と競技時間を変更している。日程は例年通り。

## 走高跳：男子のバーの上げ方について

- 大会要項に記載されているものが正しい：1.55m-(5cm)-1.70m-(3cm)- ⇒競技注意事項を訂正

## リレーの招集について

- リレーのオーダー用紙は、**招集終了時刻の1時間前まで**に提出。決勝に残ったら再度決勝用のオーダー用紙を提出。
- リレーのオーダー用紙提出は、**招集ではない**。招集は別にきちんと受けなければならない。
- 招集所の招集と、現地（スタート場所）での招集を両方うけること。

## 競技種目の棄権について

- 本大会は、競技規則「TR4.4」の「1・2」については、以下の条件を満たす場合、**適用しない**。  
⇒予選や準決勝のラウンドを突破したものが、次のラウンドを棄権する場合は、**リザルト発表後、15分以内に、大会総務まで棄権届を提出**すること。  
※時間内に棄権届を提出し、受理したものについては、棄権数に該当する次点の選手を繰り上げて、ラウンドに進出させる。ただし、繰り上げた選手が辞退する場合は、それ以上の繰り上げは行わないものとする。

- ◆予選や準決勝を突破して、次のラウンドを棄権する場合、15分以内に棄権届を提出せずに棄権すると、その後の本大会のすべての種目（リレーや次の日の種目含む）に出場できなくなる。
- ◆「顧問や監督と生徒間での棄権の判断」・「棄権届の提出」について、時間内に行うよう、**監督と生徒間で事前に打ち合わせや確認を！**
- ◆「15分以内」は短く感じる事が予想されるが、**競技進行や次ラウンドの編成**を考慮し、「抗議」と同時間としている。

### 練習会場について

- 運動場・補助競技場でのルールとマナーを厳守させること。  
※使用する場合はできるかぎり顧問・監督が付いて、他校選手との接触事故等が無いよう、指導すること。
- サブトラックや競技場周辺でウォーミングアップ以外の練習は行わないこと。
- 運動場・補助競技場では砲丸を投げることはできない。
- 公園内の周回コースは、左回り限定。長距離のアップのみとする。  
また、周回コースはスパイク使用不可。バトン練習等も不可。

### 駐車場について

- 大型バスは、第1駐車場の右奥に駐めるスペースがある。第2駐車場はバスの駐車厳禁！
- 路上での生徒乗降や荷物の運搬もダメ！とにかく路上に駐停車しないように！  
※バスの運転手と確実に打ち合わせを！⇒何かあった場合、そのバスを使用しているチーム名を確認して対応。  
過去に、バスの運転手が、良かれと思って、勝手に判断して競技場内に進入したり、路上で駐停車したりして、トラブルになったケースもあります。

### **重要** 競技場外での路上駐車や停車は厳禁です！！（生徒・保護者への連絡を！）

- ※路上駐車や停車、**近隣の商業施設の駐車場への駐車などは絶対に厳禁**です！本城陸上競技場で大会を行うことができなくなります！！
- ※地域住民の方からの苦情が相次いでいます！警察通報による、取り締まりも行われます。
- ※顧問の先生・チームの引率者は、責任をもって、保護者に連絡の徹底を！